

研修コード F00-046

<b>C-46</b>	<b>アセスメントの方法と指導の実際</b>						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
児童生徒の特性に応じた指導・支援に生かすことができるように、普通の授業や日常の観察から、より専門的なWISC-IV知能検査の結果を分析するまでのアセスメントの方法や解釈の理解を深める。			幼保認	<input type="radio"/> 小	<input type="radio"/> 中	<input type="radio"/> 高	<input type="radio"/> 特
			教頭、教諭、養護教諭 (WISC-IVの実施や解釈を求められている教員) 40名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容			指標における主な項目			
6/14 (金) 10:00~16:15	<b>OWISC-IV知能検査結果の分析と活用(講義・演習)</b> 日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志			生徒指導力①④			
備 考	センターを会場として、リモートによる講義を行う。						
<b>担当者からのメッセージ</b>	発達が気かりな児童生徒の認知特性を知ることは、個に合わせた指導を考える上でとても重要です。この講座は、学級担任等が普通の授業や日常の観察、生育歴等を基にした実態把握や背景要因の分析の方法から、WISC-IV知能検査の結果の解釈まで、アセスメントから分かる特性や学校での具体的な指導・支援について考えることができます。アセスメントの方法を広く、深く学びたい先生方にとって大変参考になる講座です。 ※検査の実施方法を学ぶ講座ではありません。						

(連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL 018-873-7215)